

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

教育を語る

村越祐民 市長
田中庸恵 教育長 対談



□■「自分らしく輝く力を持った人間味あふれる人の育成」に込められた市長の思い■□

市長 近い将来、人工知能が人間の能力を上回る時代がくるといわれています。そうした時代でも、他人を尊重し自分の個性を生かして、力強く生活していくことを大切にしていきたいですね。むしろ、人間の個性やコミュニケーション能力は一層大事になってくるでしょう。そういう「人間の生の力」というものを磨き上げる教育を、教育長と一緒に実現したいと思います。

□■「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」に込められた教育長の思い■□

教育長 私も市長と同じ思いを持っています。家庭・学校・地域が一体となって子供を育てていく教育、それが「人をつなぐ教育」です。子供たちには、世代を超えた多くの人とのかかわりの中で、互いに多様性を認め合いながら、豊かな人間性を育ててほしいです。

そして、「未来へつなぐ教育」とは、学びや育ちの連続性を大事にして、個性の伸長を図り、子供の夢や思いを実現する教育です。「小1プロブレム」、「中1ギャップ」などといわれる教育環境の大きな変化による課題を解消しながら、長期的な視野に立った教育によって、自分らしく輝くための学びを実現させてあげたいと考えています。

□■人とのつながり■□

市長 これからの子供たちには、人の輪を作って、輪の中にうまく入っていく能力を身につけてもらいたいです。人の上に立つのではなく、人の輪の中で協働していくことがリーダーシップだと私は思っています。

教育長 人と人とが協働してよりよい社会を築いていくために、子供たちには、命を大切にす気持ちや思いやりを持ってほしいです。

また、人と人との温かいかわりはあいさつから始まります。私が学校を訪問すると、どの学校でも子供たちが元気にあいさつをしてくれ、清々しい気持ちになります。

市長 あいさつをすることや感謝の気持ちを伝えることは、人の輪の中に入るための基本です。人をつなぐということは、先生や師匠、友達などから学ぶことでもあります。誰かに何かを教えてもらうには、自分自身が魅力的になれるように努力することが必要です。私も師と仰ぐ人の言動から大きな影響を受け、自分で真似できることを取り入れています。そんな人と出会い、つながりを強められるような、具体的な教育が市内の学校で実践されることを期待しています。

教育長 学校の授業では、意図的・計画的に、考えさせたり判断させたり発表させたりする場面を、先生が取り入れていくことが大事になります。SNSによるコミュニケーションとは違う、直接的なコミュニケーションの中で、人のいろいろな意見を聞いて自分の考えを伝えたり広げたりすることができるでしょう。また、幼児教育では、人とかかわりを深められるような活動の工夫が大切です。

市長 直接的なコミュニケーションがとれるようになってから、SNSなどを利用してほしいと思います。

先日訪問した学校では、先生が情熱を持って生徒に接している姿を拝見しました。子供たちが、互いに他の友達を認めながら自分の個性を磨いている様子を見て、将来は明るいと感じました。

□■違いを認め、多様性を尊重すること■□

教育長 多様な人々の活躍の場を生み出していくことがこれからの時代には必要になります。

市長 多様性は「力」です。私は仕事をするとき、「自分たちに足りない部分は、新しいものを取り入れていこう。」と言っています。そのためには、自尊心や自己肯定感を大切にしつつ、相手を尊重し、相手の立場に立って、相手の目でものを見ることが必要です。



教育長 学校では、違った立場からの意見や考え方をぶつけ合いながら新たな価値観を見出すことが、子供たちの成長につながり、子供時代から互いの違いや良さを認め合うことが、将来日本が目指している共生社会を実現しようとする人材を育てていくことにもなります。

市長 私は、すべての子供を市川の学校で受け入れ、育てたいという強い思いがあります。それぞれの個性を生かしつつ、等しく成長してもらいたいという思いです。子供たちは将来、いろいろなところに羽ばたいていきますが、最終的には市川に戻り、郷里を愛して生活をしてもらえるようなまちづくりをしなければならないと思っています。ですから、まちの成長・発展の一丁目一番地は教育だと考えています。

教育長 これからは、性別、年齢、国籍等を問わず、その個性や能力をそれぞれの強みや魅力として、今以上に活躍する時代がきます。ですから、それぞれの違いを尊重し合う雰囲気や醸成していくことが、学校教育・社会教育・家庭教育すべてに求められると思います。

市長 私も教育長と同じ意見です。私は、そういう時代が来るだろうし、そうでなければいけないと思っています。

□■子供たちへのメッセージ■□

教育長 子供たちには、個性を伸ばし、可能性を広げる学びをしてほしいです。また、基礎的・基本的な学習内容を確実に習得していくことの他に、様々な手段を用いて情報通信技術を適切に活用する力をつけてもらいたいです。そのような力が、まさしく「豊かな心」とともに、これからの社会に対応していくための基盤になっていくと思います。

市長 子供たちには「失敗する力」をつけてほしいです。つまりチャレンジするということですね。失敗を恐れて行動に移せない子供たちが増えているのではないかと感じることがあります。でも、失敗や逆境、困った経験から学ぶことはとても大きいと思いますし、失敗し続けてもあきらめないことが成功することだと私は思います。ですから、何かに前向きに取り組んでいく気持ちを持ち続けて、失敗を恐れずにたくさんチャレンジしてください。



教育広報紙「教育いちかわ」200号発行の機会に、村越市長と田中教育長に「市川の教育」について語っていただきました。昭和54年の創刊以来、地域や家庭と学校、そして教育委員会をつなぐ架け橋として、優れた教育実践の紹介や教育行政の広報、教育理念の啓発に努めてまいりました。教育委員会ホームページでは「教育いちかわ」が135号よりご覧になれます。 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu17/1111000049.html>

学校へのサポート体制の充実

～よりきめ細かな指導や理解力の向上のために～



市内各学校には、平成14年度から市川市独自で少人数学習等担当補助教員(以下「補助教員」という。)を配置しています。その目的は、1学級を2グループの少人数に分けて授業を行ったり、担任と協力して複数の教員で学習指導を行ったりするなど、児童生徒に対し、きめ細かな指導を行うためです。また、教科指導を専任で行ったり、教材教具の作成や開発等にあたることもあります。

導入当初は、小学校・中学校で20校程度の配置状況でしたが、平成20年度から各校1名の配置を実現してきました。今年度からは、よりきめ細かな指導や理解力向上のため21名の増員を行い、学校規模に応じた複数配置も実現できました。

補助教員を配置した効果としては、

- ① 児童生徒の理解・習熟状況にあった授業(習熟度別)を積極的に展開できた。
- ② より個々に目が届き、興味関心に応じた課題選択(課題別)を実現した。
- ③ 学習でのつまずきを早期に発見できた。
- ④ 質問がしやすい雰囲気醸成できた。

等があります。

学校評価アンケートでも、少人数指導に対する保護者の満足度は高く、「お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。」の質問に対して、小学校で約9割、中学校で約7割の肯定的回答をいただいています。

今後は、担任と補助教員が連携をさらに密にして、市川市の児童生徒の学力向上に努めていきます。

【義務教育課】

むし歯予防大会

6月5日(水)に生涯学習センターにおいて「第45回市川市むし歯予防大会」が開催されました。大会の中で行われた健歯審査では、各学校から健歯(むし歯がなく歯並びも良い)として選ばれた児童生徒の中から優秀者を決定し、表彰が行われました。また、同時に歯科衛生作品(図画・ポスター・作文)に入賞した児童の表彰も行われ、当日出席した村越祐民市長と握手をする機会もあり、思い出に残る大会となりました。

市川市では、このむし歯予防大会とあわせて、すこやか口腔検診を実施しています。そこでは、歯みがきの回数、食生活や運動量、だ液の質、噛む力なども調べており、むし歯を予防するためには、歯みがきの習慣を身につけながら、口の中の健康に関心を持ち、歯ごたえのある物を食べ、しっかり運動することを推奨しています。今回応募されたポスターにも、むし歯予防の大切さをイラストで表現した作品や、検診の大切さを切実に訴える作品があり、審査員の先生方から高い評価を受けていました。この大会が、参加した児童生徒にとって、むし歯の予防を考えるよい機会になってほしいと思います。児童生徒のみならず、歯みがきをしっかりと行い、口の中をきれいに保つようにして、むし歯予防をしていきましょう。

【保健体育課】



坂本 武琉さんの作品



寶田 蒼一郎さんの作品

「放課後子ども教室」の運営がスタートしました



市川市教育委員会では、「放課後保育クラブ」とともに、別の形でも放課後や学校休業日等の子供の居場所づくりを推進しています。これまで「ピーイング」として、市内9カ所で事業を実施してまいりましたが、今年度から、そのうち八幡小、宮田小、富美浜小、塩浜学園の4カ所で実施している「ピーイング」を、新たに「放課後子ども教室」へと移行し、運営を開始しました。

「放課後子ども教室」は、学校終了後直接利用することができ、自由遊びの他、工作や外遊び、体験活動等、様々な活動を実施しており、市の非常勤職員がスタッフとして見守りをしています。

今後の計画としては、今年度末までに、残りのピーイング5カ所を、順次「放課後子ども教室」へと移行し、令和2年度以降はその他の小学校にも「放課後子ども教室」の新規設置を進めていく予定です。

「放課後保育クラブ」のように利用者の条件はなく、小学生であれば誰でも無料で利用できます。利用にあたっては事前登録が必要となりますので、登録の詳細につきましては学校地域連携推進課までお問い合わせください。

○問い合わせ

市川市教育委員会 学校教育課 学校地域連携推進課

TEL: 383-9386 (直通)

【学校地域連携推進課】

家庭教育学級～共通講座のお知らせ～

市川市教育委員会では、市立の幼稚園、小・中学校、義務教育学校、特別支援学校に家庭教育学級を設置しています。

家庭教育学級では、それぞれの園や学校で行う「自主企画講座」、家庭教育指導員が講演を行う「指導員派遣講座」、学校地域連携推進課が紹介する子育てや親の学びにつながる講座を「共通講座」として開催しています。「共通講座」は、興味・関心のある講座にどなたでも参加することができます。講座内容や申込方法等については、家庭教育学級のホームページをご覧ください。

なお、家庭教育学級では、1年間の参加回数が5回以上の方を「努力賞」として表彰しています。「自主企画講座」、「指導員派遣講座」、「共通講座」すべての参加が対象となります。ご参加お待ちしております。

【学校地域連携推進課】



市川市家庭教育学級
ホームページQRコード

令和元年度「第45回 市川市むし歯予防大会」 歯科衛生作品・健歯入賞者

種別	賞	学校名	学年	氏名	
図画の部	一般	優秀	鬼高小学校	3	寶田 蒼一郎
		優良	八幡小学校	2	瓜生 美咲
		優良	菅野小学校	1	徳住 櫛名
		優良	鬼高小学校	3	高橋 麻依
		佳作	八幡小学校	2	吉伊 真穂
		佳作	大和田小学校	1	照屋 慧人
作文	一般	優秀	国府台小学校	6	堀 柚子
		優良	北方小学校	5	服部 優
ポスターの部	一般	優秀	北方小学校	5	坂本 武琉
		優秀	大和田小学校	6	澤口 佳歩
		優良	鶴指小学校	5	日高 心菜
		佳作	北方小学校	6	瀬川 彩
		佳作	市川小学校	6	吉田 萌々華
	佳作	鬼高小学校	5	寶田 菜々子	
特別支援	優秀	北方小学校	6	原田 久羅太	
		北方小学校	6	遠藤 雪菜	
健歯児童 小学6年 男子の部	優秀賞	八幡小学校	6	蘇我 陽太	
	優秀賞	新井小学校	6	磯田 昇摩	
健歯児童 小学6年 女子の部	優秀賞	南新浜小学校	6	田邊 壱歩	
	優秀賞	国分小学校	6	青木 さら	
	優秀賞	稲荷木小学校	6	小山 琉花	
健歯生徒 中学3年 男子の部	優秀賞	二俣小学校	6	小野 祥	
	優秀賞	第二中学校	3	中野 智裕	
	優秀賞	第三中学校	3	山本 耀大	
健歯生徒 中学3年 女子の部	優秀賞	南行徳中学校	3	箱石 玲偉	
	優秀賞	第三中学校	3	福永 さくら	
	優秀賞	第七中学校	3	五味 愛花	
健歯児童 小学6年 男子の部	優秀賞	高谷中学校	3	津田 まひる	
	優秀賞	高谷中学校	3	津田 まひる	

(敬称略)

様々な経験を子ども達へ ～いちかわ子ども村～



市川市青少年相談員は、スポーツや野外活動を通じた体験学習の促進、ボランティアによる社会参加活動の推進など、子供たちと共に喜び、共に語り、共に行動することで、地域の青少年健全育成推進の担い手として、子供たちが元気に明るく成長していくためのお手伝いをしています。

今回は、様々な活動の中の大きな行事の一つである「いちかわ子ども村」について紹介します。

この行事は、団体生活の中で協力することがいかに大切であるかを体験してもらうもので、市内在住・在籍の小学校4～6年生を対象に、毎年夏休みに少年自然の家に宿泊する1泊2日のキャンプです。

今年は、すでに申込は終了していますが、7月20日(土)、21日(日)に「楽しんじゃおう！子ども村」をテーマに、クラフトやスポーツゲーム、野外炊事、水遊び等のプログラムを実施します。

昨年参加した児童の保護者からは「初めての参加で、とても良い経験をして帰ってきました。高校生になったらボランティアとして参加したいと張り切っています。」「兄弟に対して優しくなった。」などの感想をいただきました。

自分で考えながら行動し、違う学校・違う学年の仲間と協力しながら、普段とは違う体験ができる「いちかわ子ども村」は、新しい仲間との絆を深めるなど、子供たちがいっそうたくましく成長する絶好の機会になると思います。【学校地域連携推進課】

チャレンジャー・スクール「学び」「考え」「行動する」

市内の小学校4年生から6年生が参加する年間5回の自然体験プログラム「チャレンジャー・スクール」は、希望者が定員55名の人数を大きく超えるほど人気がある、少年自然の家が主催する事業(今年度の申込は終了)です。



今回、6月2日(日)に第1回「仲よくなろう科」として、他校の友達を知り、自然に触れ、仲よくなろうというねらいをもって行いました。始めは初対面同士で緊張した様子でしたが、大町周辺をグループでコマ地図を頼りに進む「ウォークラリー」を行い、進むべき方向を考えたり、出された「指令」をクリアしたりして、少しずつ打ち解けていきました。午後には、梨の木片に思い思いの図案を描き、楽しみながらオリジナルの「会員証」を作成しました。参加した児童からは、「仲間と話し合って協力できた」「自分の好きな絵を描いて、オリジナルの会員証を作れて嬉しかった」など好感的な意見が多く、チャレンジャー・スクールの魅力を感じていたようです。

第2回目は宿泊があり、今回以上に子供同士の協力が求められます。仲間と知恵を出し合い、協力して、様々な活動に取り組む姿を見られると思うと楽しみです。チャレンジャー・スクールの経験を通して、自然の美しさや仲間と交流することの大切さがわかる人に成長することを、少年自然の家の職員一同は願っています。【青少年育成課】

日本最古の丸木舟を特別公開

考古博物館 企画展

「大地からのメッセージ」

-外かん自動車道の発掘成果-

期間 7月6日(土)～9月8日(日) 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日 ※7月15日・8月12日は開館し、翌日休館
入館 無料
場所 歴史博物館 2階特別展示室

日本最古の縄文時代の丸木舟が、市川市内で発見されたことを知っていますか?その他にも、外かん自動車道の発掘現場からは、貴重な資料がたくさん見つかっています。今年の夏は、それらの出土品を一挙に見ることができる、特別な展示を実施します。

夏休みは博物館で楽しく学ぼう!

その① 自由研究向き! れきはく夏休み体験イベント

申込は、歴史博物館へ電話(373-6351)または窓口へ

◇ 昔の洗たく体験

洗たく板やたらいを使った、昔の洗たくを体験!

日時: 7月28日(日) 午前9時30分～午前12時

対象: 5歳以上(保護者参加可)

※限定10組

持ち物: 手ぬぐい(洗たく用)・
水筒・汗拭きタオル等



◇ 市川歴史たんけん隊-真間編-

学芸員と一緒に、市川のまちを探検! 今年は真間を歩きます。

日時: 8月1日(木) 午前10時～午前11時30分

場所: 京成国府台駅から弘法寺周辺まで

対象: 小学校3年生以上(原則として保護者同伴)

※限定15組(小さなお子さんの参加は要相談)

持ち物: 筆記用具・水筒・汗拭きタオル・デジカメ等

◇ 和とじのメモ帳づくり体験

和風のオリジナルのメモ帳づくりを体験! 夏の思い出にぜひ!

日時: 8月25日(日) 午後1時30分～午後3時

対象: 小学校3年生以上(保護者同伴可) ※限定10組

その② 夜の博物館見学! ナイトミュージアム

8月4日(日) 午後7時～午後8時30分

夜の博物館を特別開館! 幽霊絵(写真)の特別展示、ちょっとこわ〜い紙芝居の実演、コンサートなども開催予定です。詳しくは、決まり次第、市川考古博物館Webページにてお知らせします。

その③ 博物館の夏と言えば! 第11回サマーフェスタ

8月17日(土) 午前10時～午後2時

※雨天時は縮小開催。荒天時は中止。

大人気の竹の水鉄砲づくりを今年も実施! その他に、勾玉づくり(有料)や組紐ストラップ、塩を使ったスーパーボールづくりなども体験できます。夏の思い出に、博物館で楽しく過ごそう! 竹の水鉄砲づくり以外は、事前申込不要です。

【竹の水鉄砲づくり 申込方法】

※小学生向け

往復はがきに、「水鉄砲づくり希望」、参加者の住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号・保護者氏名、返信用あて先をご記入の上、7月27日(土)まで(消印有効)に歴史博物館(〒272-0837 堀之内2-27-1)へ。

※応募多数の場合、抽選となります。

〇問い合わせ

市川考古博物館(373-2202)

市川歴史博物館(373-6351)

北総線「北国分駅」より徒歩10分



※ イベント開催時には、混雑することが予想されますので、公共交通機関をご利用ください。【考古博物館】

放課後保育クラブ

市川市放課後保育クラブは、就労等により保護者等が放課後家庭にいない小学生の健全な育成を図ることを目的として、家庭にかわる適切な遊びおよび生活の場を提供しており、市内46ヶ所に開設しています。現在、指定管理者制度により、社会福祉法人市川市社会福祉協議会がすべての保育クラブを運営しています。

保育クラブでは、支援員のもとで宿題をしたり、おやつを食べたり、友達と遊んだりして過ごします。また、遠足やお誕生会などの

イベントも催されています。

保育クラブの情報は、青少年育成課Webページに掲載しております。申請書類のダウンロードもできますので、ご確認ください。

保育クラブ入所申請は、青少年育成課の窓口へ直接提出することになっており、年度途中での入所は毎月15日締切、翌月1日入所となります。

なお、新年度の入所受付は、例年11月下旬より開始する予定です。詳細につきましては、11月上旬より広報・市川市公式Webサイト等でお知らせいたしますので、ご確認ください。【青少年育成課】



「ツイたん」で見守る「学校防犯システム」導入

市内の小学校(※注1)と特別支援学校に、登下校の把握と防犯強化を目的として、NPO法人「ツイたん」の防犯システムを導入することとなりました。配付されるICタグをランドセルに取り付けた状態で、校門に設置されたセンサーを通過すると、校内にあるパソコンへ通過した時刻が記録されます。また、防犯カメラも各校に設置されるため、校門を通過した映像も記録されます。

お子さんの登下校の通過時刻を、保護者がメールで受け取れる有料サービス(月額400円+税)もあります。8月末までに全校の設置工事が完了し、9月より運用が開始されます。【義務教育課】



※注1 義務教育学校(前期)については、校舎建替工事のため、校舎完成次第、導入予定

教育センター行徳相談室開室

行徳支所の窓口機能等の拡充に合わせて、市内南部に居住されている利用者の利便性を図り、教育相談を充実させるために、行徳支所内に『教育センター行徳相談室』を5月14日(火)に新規開設しました。

- TEL: 318-3223
- 場所: 行徳支所2階
- 開室日: 火曜日～土曜日 午前9時～午後5時
- 相談内容: 発達に関すること、不登校に関すること、性格や行動に関すること、学業に関すること、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関する保護者からの相談をお受けします。まずは、お電話でお申し込みください。【教育センター】

「いじめ相談@いちかわ」が始まります

中学校におけるいじめ問題の解決を図るため、中学生等に普及しているLINEを活用した、いじめ相談窓口の開設を計画しています。心理カウンセラー等が、LINEを通していじめに関する相談を受けるとともに、アドバイスを行い、必要に応じて警察や教育委員会につなぎます。

今年度は実証実験として、8月末～9月中旬と1月末～2月中旬の2回行い、令和2年度からの通年実施に向けて調整していきます。

市内の中学生約12,000人を対象とし、QRコードが印刷された手紙を7月中旬に配付する予定です。【少年センター】

教科書展示会

- 令和元年度使用教科書 小・中学校・義務教育学校 全教科 特別支援学校・特別支援学級用一般図書
- 令和2年度使用教科書採択候補(全教科書会社) 小学校・義務教育学校 全教科 特別支援学校・特別支援学級用一般図書



日時: 7月23日(火)～8月31日(土) 午前10時～午後5時 ※毎週月曜日と館内整理日(7月31日(水)、8月13日(火))を除く。
場所: 市川市生涯学習センター3階 市川市文学ミュージアム資料室 【指導課】

子供にかかわる相談はここでできます!

- ◆教育相談(教育センター)
 - 予約TEL 320-3336 (教育センター相談室)
 - 予約TEL 318-3223 (行徳相談室)
 - 火～土(午前9時～午後5時)
 - 対象: 3歳～中学校3年生
 - 子育てや発達等の悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が保護者との面接相談をしています。
- ◆ほっとホット訪問相談(教育センター)
 - TEL 320-3362 (教育センター相談室) 火～金(午後0時30分～午後5時)
 - TEL 318-3223 (行徳相談室) 木のみ(午後0時30分～午後5時)
 - 対象: 小学校1年生～中学校3年生
 - 不登校や子育てについての保護者からの相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。
- ◆少年相談(少年センター)
 - TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)
 - メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp
 - 対象: 小学校1年生～20歳未満
 - 家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人からの相談も可能です。【教育センター】



小・中学校の講師募集

～あなたの教員免許をいかし、市川の子どものために働きませんか～

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を募集しています。

- 募集職種
 - (1) 県費講師: 産前産後休暇の代替等
 - ・常勤(週38時間45分勤務)
 - 給与: 月額20万円程度～(経験による)交通費有
 - (2) 市費補助教員: 教科の指導のサポート及び学級担任等の補助
 - ・週2日～(最大5日35時間)(8:15～16:00)
 - 時給1000円～(職種による)交通費有
- 応募方法
 - ※義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。TEL 383-9261
- その他
 - ※教員免許がない方もお問い合わせください。
 - ※ホームページもあわせてご覧ください。【義務教育課】

